

- サマーパーティ 20071
- 2007 北京国際図書博覧会2
- 海外ニュース.....3

サマーパーティ 2007



JAIP Summer Party と新しく書かれた看板のもとに今年も 43 社、184 人を集めて恒例のサマーパーティーが 7 月 13 日（金）プレスクラブで開かれました。司会進行役は鶴竜次さん（東亜ブック）。文化厚生委員長鶴三郎さん（東亜ブック）の歓迎のスピーチで始まりです。端で見ていてもこの親子の細やかな心遣いと演出は会場の皆さんの心を和ませるものがあるようです。続いて協会理事長マーク・グresham さん（UPS）のスピーチと乾杯の音頭。日本語のスピーチもこのところすっかり板についた感じで「親密な人間関係を作り上げる事が仕事の上でも大事で、このような機会を大切にしましょう」とのお話、人間関係を人参関係

（？）と勘違いした仲間のお話でどっと笑いを取る話術には何時もながら感心させられます。この日は少々蒸し暑かったせいもあって、皆さん料理とともにビールを飲むピッチも早かったようです。途中、これも恒例となった抽選会があり 21 人が商品券を当ててニッコリ、また理事長の粋なはからいで当プレスクラブのワイン付き食事券も抽選されました。パーティーも最高に盛り上がったところで中締めはポール・ライリーさん（OUP、Japan）の登場。達者な日本語と見事な一本締めに皆さんビックリ。外人パワーに圧倒されながらも、定刻の 8 時を過ぎても皆さんまだまだ話し足りない様子で、本当に楽しい一夜でした。（T. U. 記）

2007 北京国際図書博覧会



遼寧教育出版社ブースより

2007年北京国際図書博覧会（BIBF）が8月30日から9月3日にわたって、北京で行なわれました。医学書院は、昨年から本格的にBIBFの展覧を開始、おもに翻訳権交渉を行っています。

中国国内の出版社数は約537社。2006年は新刊130,264点の増加。リプリント等は103,707の増加で前年比5.17%のup。出版総数の評価額は、約650億元とされています。学生用のテキストブックが大半を占め、小説や随筆、流行雑誌なども好調です。しかし、近年の利益率低下にともない、出版社の構造改革が叫ばれています。株式会社化の推進。デジタル化による節税などが各社で検討されています。

会場となる中国国際展覽センター（面積3万4000平方メートル）には、58の国と地区から1400社余りの出版社が出展。このうち約7割以上が海外からの企業で、アジア最大規模の展示会といわれています。ブースは国ごとにまとめられ、今回のテーマ国であるドイ

ツを始め、アメリカ、イタリア、スペイン、フランス、韓国、インド、日本を中心に、BUSSINESS DAYとなる、8/30～9/1までの3日間でdistributionおよびtranslation rightsの交渉が、各ブースで熱心に行われていました。9/2～9/3までは、一般公開日です。各社担当者もこの日になると、ほとんど仕事にならなくなり、別の出張先に移動する、あるいは帰国する方々も見受けられました。

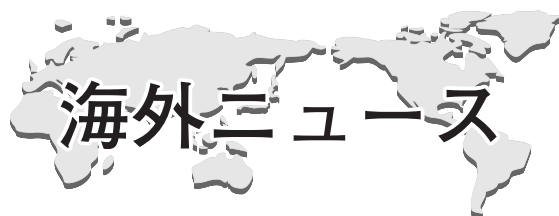
科学・技術・医学系専門書（STM）分野の翻訳権獲得にも積極的で、弊社も多くの中国出版社に訪れていただきました。医学系では、Elsevier、Wolters Kluwer Health、McGraw-Hill Medicalなどのタイトルの翻訳書が数多く出版されています。たとえば、解剖学書で有名なGray's Anatomy 39E (Elsevier)の中国翻訳版が人民元で680元（USD 190）です。一方で洋書原書を購入するとなると、人民元で1000元を超えています。米国出版社の担当者たちの話では、医学系書

籍の原書については、商売は難しいようです。翻訳権料については、海賊版の抑止も考慮しつつ、各社とも控え目な数字を提供して、翻訳書のマーケット拡充を進めていると思われます。一方で、児童書、経済書などの原書販売は、引き続き好調を維持しているようです。英文で読む層も学生を中心に増えているとのことでした。

自分は、今回が初めての参加でした。ここ10年間の中国国内のすさまじい進歩は、新聞など活字としては認識していたものの、北京市内を走る自動車の数、

近代的建築物、外資系企業のビル、そして街ゆく人々のファッションなど目の当たりにし、共産主義国家体制下の管理社会を一切感じさせられることはなく、まさに資本主義国家の一都市と思わされるほどでした。一方で、急速な進歩に伴う、歪みも懸念されます。しかしながら、特に沿岸線を中心とした、東側地区の大都市圏の各出版社の積極性を肌で感じ、今後の中国市場が無視できない存在であると思われました。

(医学書院 日吉 大輔)



◆… ハリー・ポッター最新巻の“翻訳版”

ハリー・ポッター・シリーズ最新巻 Harry Potter and the Deathly Hallows (英語版) が、全世界で同時発売された7月21日、インターネット上に最も早い中国語版が掲載された。

中国日報によると、シリーズのファンが「チームを組んで、インスタント・ラーメンを食べながら徹夜で翻訳した」とのこと。正式な中国語版の出版は今年10月になる予定。

翻訳した学生たちは、インターネットに掲載した翻訳版に、これが販売目的では無い旨のコメントを付して、著作権保護法に触れることを避けている。「僕ら

はハリーが大好きだから翻訳しただけで、商用の目的ではたではない」

しかしながら、中国の出版社は、海賊版が横行する国情からみて、今後不法な翻訳版の刊行を助長する動きに繋がることを懸念している。

中国日報は、夏休み中のティーンエイジャーたちが英語版を購入するやいなや翻訳を始めたのだとレポートしている。

フランスのティーンエイジャーも、Deathly Hallowsの翻訳版を出版したという理由で訴えられたが、不起訴処分になっている。この少年も、発売後間もなく発表したこの不法な翻訳で利益を得ようとしたのではないと主張している。正式なフランス語版の発売も10月の予定。

シリーズ第7巻目にあたる本書は、シリーズ最速での売り上げを記録し、英語版の発売から24時間で千百万部以上が購入された。

BBC News AUGUST/16/2007

<http://news.bbc.co.uk>

(ニュース提供：丸善洋書部)

会員住所変更

(株医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

(電話・FAXは変更無し)

移転日5月7日

(株ゲーテ書房

〒107-0062 東京都港区南青山2-5-9 パールビル南青山1F

Tel: 03-5771-6511 Fax: 03-5771-6512

移転日7月17日

ワイリー・ジャパン

〒112-0002 東京都文京区小石川1-28-1 フロンティア小石川ビル4F

Tel: 03-3830-1211 Fax: 03-5689-7276

移転日8月20日

ユサコは“古き良きもの”と “新しき良きもの”の融合を目指します!



●ソウル南大門にて(2007.5.11)

Let's think positive!

私たちは、1934年の創業以来、常に前向きに、新しい発想にチャレンジしてきました。例えば世の中の変化をいち早く見抜き、1972年には業界で初めて、IBMコンピュータの導入に踏み切りました。また、週休2日制を取り入れたのも、やはりユサコが初でした。そして、最近では女性取締役もいち早く誕生し、ユサコのチャレンジ精神は、ますます旺盛になってきました。歴史と変革の融合を基軸に、私たちユサコはこれからも、JAIPの未来と発展のために、共に歩んでいきたいと考えています。

ユサコ株式会社

〒106-0044 東京都港区東麻布2丁目17番12号
TEL:03-3505-3256 FAX:03-3505-6282 / Email:marketing@usaco.co.jp